

「多文化共生」を考える研修会2015 開催結果

1 趣旨

日頃から外国人県民と接する機会が多い県・市町職員、教員、福祉事務所などのケースワーカー、日本語ボランティアなどを対象に、外国人県民の現状や様々な課題について、共に学び、理解を深めるための研修会を開催することにより、すべての人々が安全で安心して生活できる多文化共生社会の実現を推進する。

2 主催

(公財)兵庫県国際交流協会、特定非営利活動法人神戸定住外国人支援センター、兵庫県、兵庫県教育委員会、神戸市

3 内容

テーマ	時間	内容	講師等
8月19日(水) 国際健康開発センター 会議室1			
総論 ～“他”文化との 共生～	13:30～13:35	主催者あいさつ	(公財)兵庫県国際交流協会 副理事長 多田 昌史 (特非)神戸定住外国人支援センター 理事長 金 宣 吉
	13:35～15:00	日本と中国の狭間で 日本生まれの中国残留孤児2世から見た父の姿	城戸 久枝(ノンフィクションライター)
	15:15～16:45	多文化であることとは—新しい市民社会の条件	宮島 喬(お茶の水女子大学名誉教授)
8月21日(金) 国際健康開発センター 会議室1			
外国にルーツを持つ 子どもの教育	13:30～15:00	学校で出会った日本で育つマイノリティの青年たち	柿本 隆夫(大和市教育委員会教育長)
	15:15～16:45	外国にルーツを持つ子どもの自立支援に向けた取り組み ～学校、地域、NPO連携に向けて～	田中 宝紀 (特非)青少年自立援助センター 定住外国人子弟支援事業部統括コーディネーター)
8月26日(水) 国際健康開発センター 会議室1			
「多文化共生」をめ ぐる世界の動向	13:30～15:00	日韓大学生の多文化共生に対する比較意識調査の報告	野津 隆志(兵庫県立大学教授) イ・ヘジン(釜山大学専任研究員)
	15:15～16:45	日本社会での「多文化共生」を考える—比較の視点から	柏崎 千佳子(慶応大学教授)
8月28日(金) 海外移住と文化の交流センター ホール			
異文化と生きる ～ムスリムを知る フィールドワーク～	13:30～15:00	トルコ人から見たイスラム世界	アフメット・イルマズ(トルコ料理店オーナーシェフ)
	「神戸ムスリムモスク」へ移動		
	15:15～16:15	神戸ムスリムモスクのフィールドワーク	新井 アハサン(神戸ムスリムモスク理事長)